

## 4-1-18 看護部（保育士を含める）

### 1. 概要、特色

平成 17 年度の看護職員の定数は、看護師（助産師含む）439 名、保育士 6 名、看護助手 14 名（非常勤含む）である。4 月 1 日付人事で副看護部長 1 名、看護師長 2 名の異動と、新採用 55 名でスタートした。また、今年度より、救急外来と中央材料室の看護師長を併任とした。そして、看護師長 1 名を研究所研究員と併任した。研究所における研究活動を行うとともに看護部の院内研修会講師ならびに看護師への研究指導・コンサルテーションを役割として配置した。

看護部は、院内で最大の組織集団である。その組織の機能を充分発揮するため、17 の看護単位と 4 つの会議、7 つの委員会を組織し目標管理を導入し運営している。平成 17 年度は、看護部の目標を 5 つ挙げた。1. 看護基準の整備、2. 情報開示、個人情報保護を考えた看護記録の充実、3. 看護サービスの充実、4. 看護職員の人材育成、5. 看護の立場から病院経営への参画である。これらの目標達成に向けて、病棟目標、委員会目標、個人目標を設定し各々が精力的に取り組んでいる。

平成 17 年度の具体的な成果として、看護基準の原案作成、看護記録マニュアルの改訂、クリニカルパス作成と円滑な運用、副看護師長業務指針の改定、業務改善委員会・WOC 委員会・感染対策委員会のリンクナースの活用による成果、医師、コメディカルとのチームカンファレンスの実施、看護ケアに関して、患者・家族へのインフォームドコンセントの充実、病棟と外来の一元化推進、研究活動の推進と情報発信、新しい治療に関連した看護の標準化、個人目標管理の導入による人材育成、病床利用率アップ、患者満足度調査結果の上位ランクなどが挙げられる。

設立 4 年目にして、組織としての基盤整備ができ内容の充実に看護部全体が動き始めていることを実感できる 1 年であった。

看護部長室付きで専任でいる者は、医療安全管理者、看護師長併任研究員、遺伝カウンセリグナース、移植コーディネータース、治験リサーチナース、臨床教員（母性、小児）がいる。また、病棟と兼任で月数回の活動日の範囲で活動している小児看護専門看護師、がん化学療法認定看護師、感染管理認定看護師、糖尿病療養指導士がいる。小児救急認定看護師のコースを 1 名受講中である。

## 2. 研究活動

### 2.1 院内研究

- 1) 加茂 さち子：緊急に娩出時臍帯非切断下胎児処置を要した事例の看護  
～多方面にわたるチーム医療における看護師の役割～、2006.2.14
- 2) 水田 由希子：PICU における筋弛緩剤投与患者の Eye Care に関する研究  
～第 1 報 現行の Eye Care を評価して～ 2006.2.14
- 3) 伊原 仁子：遺伝疾患患児を抱える母の気持ちの変化と看護  
～在宅移行への決意とその実現～ 2006.2.14
- 4) 堀井 優子：手術を受ける子どもの反応 2006.2.14
- 5) 福田 友美：経鼻十二指腸チューブの閉塞を予防する管理方法 2006.2.14
- 6) 御厨 晶子：膀胱拡大術を受けるキャリーオーバー患者の標準看護計画 2006.2.14
- 7) 佐藤 紗恵子：不妊症患者に対する精神的援助について  
～当院における不妊クラスのあり方の文献検討～ 2006.2.14
- 8) 船倉 誠二郎：挿管チューブ固定用バンドの圧力が及ぼす後頭部への影響 2006.2.28
- 9) 李 紅蓮：TTTS に対して FLP を受ける妊婦の標準看護計画～中間評価～ 2006.2.28
- 10) 鍋倉 幸：不妊治療後の妊娠・分娩経過の傾向と動向

- ～ 35 歳以上 35 歳未満を比較して～ 2006.2.28
- 11) 鈴木 聡子：35 歳以上の高齢褥婦の産後における母乳率・育児傾向の分析 2006.2.28
- 12) 橋本 千都子：創外固定期を装着する児へのプレパレーションの実際 2006.2.28
- 13) 工藤 真奈美：チャイルドマルトリートメントの早期発見に関する意識調査 2006.2.28
- 14) 石川 陽子：対話的關係に基づいた慢性疾患をかかえる思春期にある患者の看護  
2006.3.7
- 15) 野坂 いづみ：ハイリスク新生児を持つ母親への援助  
～当病棟における授乳の実際(経過報告)～ 2006.3.7
- 16) 三ツ屋 妙：高齢初産婦への保健指導を考える  
～国立成育センターにおける妊産婦の傾向と分析から～ 2006.3.7
- 17) 山下 康子：化学療法中で幼児期から学童前期にある児への内服援助に対する看護師の認識 2006.3.7
- 18) 瀬戸口志穂美：安静が保てない先天性心疾患をもつ乳幼児への関わり 2006.3.7
- 19) 阿部 知佳子：NICU における在胎 30 週未満の至適クベース内湿度管理の標準化  
2006.3.7

## 2.2 学会発表

- 1) 鈴木 加奈子：胎児治療における看護の役割とチーム医療  
第 23 回東京母性衛生学会、2005.5.22
- 2) 大藪 由起：在宅自己導尿患児の自立に向けた看護の検討  
第 22 回日本二分脊椎研究会、2005.6.18
- 3) 石井 望：当救急センターにおける救急車搬送の実態  
～非緊急時に救急車を要請した患者家族への対応～  
第 19 回小児救急医学会、2005.7.1
- 4) 西村 里子：救急センターにおけるトリアージの標準化に向けた取り組み  
～トリアージカンファレンスを行って～  
第 19 回小児救急医学会、2005.7.1
- 5) 山野 織江：乳幼児期における心臓カテーテル検査後の抑制時間短縮についての検討  
～クリニカルパス導入を目的として～  
第 41 回日本小児循環器学会、2005.7.8
- 6) 栗岡 幹子：入退院を繰り返す患者のコンプライアンスの向上を目指して  
～セルフケア確立に向けての援助を考える  
第 41 回日本小児循環器学会、2005.7.8
- 7) 小田 由樹子：産褥 2 日目の足浴が及ぼす下肢の浮腫の変化について  
第 36 回日本看護学会母性看護、2005.7.14
- 8) 細野 公子：女性総合外来における看護師の役割  
～予約に至らなかった事例の分析～  
第 36 回日本看護学会(母性看護) 2005.7.15
- 9) 齋藤 就美：型糖尿病ファミリーキャンプにおける教育的介入の効果  
第 11 回小児思春期糖尿病研究会、2005.7.17
- 10) 諸橋 容子：同胞を家に残して長時間面会している母親の思い  
第 15 回日本小児看護学会学術集会、2005.7.24
- 11) 亀井 ゆかり：乳幼児の抑制を最小限にした安全なカテーテル管理の検討  
- 腸管カテーテルの固定を通して -  
第 15 回日本小児看護学会学術集会、2005.7.24

- 12) 伊藤 彩：高度な医療的ケア-を必要とする児を持つ家族の気持ちの変化  
- 在宅療養以降への第一歩-  
第36回日本看護協会小児看護、2005.9.22
- 13) 宮越 千鶴：24時間面会の実態調査  
第36回日本看護協会小児看護、2005.9.23
- 14) 平塚 未来：肘関節抑制具「未来式安全ちゃん」の作成  
平成17年度東京都看護協会「看護研究学会」、2005.11.16
- 15) 長内 麻生：長期入院を強いられる学童児の日常生活確立までの援助  
第3回国立病院看護研究学会学術集会、2005.11.27
- 16) 伊藤 可奈子：機能的脊髄根切断術におけるリハビリテーションの重要性の意識向上に向けて  
- 看護基準作成を通して -  
第3回国立病院看護研究学会学術集会、2005.11.27
- 17) 村上 裕子：キャリアオーバー患者の家族の意思決定支援  
~ 気管切開導入を巡る家族の葛藤 ~  
第3回国立病院看護研究学会学術集会、2005.11.27
- 18) 大谷 究：チオパテ大量化学療法後の皮膚障害軽減への試み  
第3回小児がん看護研究学会、2005.11.25
- 19) 齋藤 就美：前思春期からのアトピー性皮膚炎患者の集団教育とその効果  
第7回子どもの心・体と環境を考える会、2005.12.3
- 20) 川嶋 由香：NICUにおける経鼻的持続陽圧呼吸管理の皮膚トラブル発生状況とブロング  
別の特徴  
第15回日本小児看護学会学術集会、2005.12.5
- 21) 齋藤 就美：思春期にあるアトピー性皮膚疾患患者の集団教育とその効果  
こども心・体と環境を考える会 第7回学術集会 2005.12.4

### 3. 研修

#### 3.1 院外研修

##### 1) 厚生労働省

- (1) 幹部看護師管理 研修：2005.6.6~6.17 野口 美穂子
- (2) 副看護師長研修会：2005.11.21~11.22 渡邊 久美子・浪瀬 悦子・阿部 さとみ
- (3) 管理者(技師長・看護師長等)研修会：2006.2.6~2.7 切手 純代・佐伯 昭子
- (4) 医療安全対策講習会：2006.3.10 榎原 恵子
- (5) 神経・筋疾患研修会：2005.9.28~9.30 五島 真美
- (6) 腎疾患研修会：2005.11.30~12.1 瀬戸口 志穂美・古橋 律子
- (7) 看護教員養成課程：2005.4~2006.3 小泉 恵子
- (8) 診療報酬研修会：2005.9.29 國見 恵子

##### 2) 日本看護協会

- (1) 実習指導者研修(東京都ナースプラザ)：2005.6.28~7.29、2005.8.29~9.21  
工藤 奈美子・田中 はつみ  
2005.10.3~11.30 源 名保美
- (2) 認定看護師教育専門課程小児救急看護学科：2005.9.5~10.7(実習) 林 幸子

##### 3) その他

- (1) がん診療及び循環器診療に従事する医師等の研修(国立循環器病センター)：  
2005.7.4~7.15 鈴木 康子
- (2) 救急医療業務実地修練(看護師)：2005.8.24~9.9 藤田 友紀

- ( 3 ) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 ( 東京医療センター ) :  
2005.11.21 ~ 12.20、2006.1.16 ~ 2.10 今野 理恵・亀井 ゆかり・小林 路子・鈴木  
沙織
- ( 4 ) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 ( 国立国際医療センター ) :  
2005.6.6 ~ 7.15、8.3 ~ 8.9、9.5 ~ 9.9 加瀬 由美子
- ( 5 ) 認定看護師フォローアップ研修  
感染管理コース : 2005.12.6 島田 知子・菅原 美絵  
がん化学療法看護コース : 2006.3.8 劔持 瞳

### 3.2 院内研修

コース名	対象者	研修テーマ	日程	研修時間	研修者数	内容
実務研修	1年目	新採用者オリエンテーション	4月	7日	51	センターの概要・倫理・安全管理・医療機器技術・電子カルテ他
		人工呼吸器装着中の看護	6月	3.5時間	51	呼吸器管理と装着中の患者管理と看護が理解できる。
		成長発達段階の理解	9月	3.5時間	51	講義：成長発達段階を学ぶための理解（国立看護大学助教授 仁尾かおり先生）
		メンバーシップとコミュニケーション	11月	3.5時間	51	体験学習 グループワーク：メンバーとしての役割を通してのコミュニケーションの重要性 講義：メンバーシップとコミュニケーションについて（田中弘子看護部長）
		1年目の看護の振り返り	H18年 2月	3.5時間	51	グループワーク：1年目の看護の振り返り。次年度の目標と課題 事前課題・事後課題
	2年目	看護実践の展開と事例検討1	10月	3.5時間	49	講義：事例のまとめ方について（聖徳大学大学院 木村千恵子先生）
		看護実践の展開と事例検討2	11月	3.5時間	50	事例発表会（49事例） 講評：聖徳大学大学院 木村千恵子先生
		メンバーシップ	7月	3.5時間	49	体験学習：単方向コミュニケーションと双方向コミュニケーション KJ法 グループワーク：チーム医療の一員としてメンバーシップを推進するために必要なこと 講義：メンバーシップ（佐伯昭子看護部長） 事前課題
	3年目	リーダーシップとは	6月	3.5時間	39	体験学習 グループワーク 講義：リーダーシップを推進するために（野口美穂子看護部長） 事前課題・事後課題
		インフォームドコンセント - プリパレーションについて -	10月	3.5時間	26	プリパレーションツールの紹介「アレルギー教室での事例」 グループワーク：事例に応じたアセスメントとプリパレーション方法
実務研修	4~5年目以上	プリゼンテーション 1	7月	3.5時間	41	体験学習 グループワーク 講義：プリゼンテーションの指導の実際（切井純代看護部長） 事前課題・事後課題
		プリゼンテーション 2	H.18年1月	3.5時間	38	スピーチ KJ法 グループワーク プリゼンター評価 事後課題
		プリゼンテーション 3	H.18年2月	3.5時間	35	KJ法 グループワーク：このようなプリゼンターになりたい 講義：プリゼンテーション（多田・山田副看護部長） 事後課題
		臨床指導者の効果的な関わり	10月	1.5時間	19	講義：人を育てるとは～学生の成長を導く、効果的に関わるために～上智大学教授 久田 満 先生
		実習指導者	H.18年3月	3.5時間	12	KJ法 グループワーク：理想の実習指導者 体験学習：単方向コミュニケーションと双方向コミュニケーション 事前・事後課題
		自己啓発	9月	1.5時間	18	講義：地域医療連携と在宅ケアについて（小暮ひろ子医療社会事業専門員）
実務研修 <管理初級1>	6年目以上	管理初級 1	10月	1.5時間	56	講義：組織集団におけるマネジメント（今井敦子副看護部長）
<管理初級2>	7年目以上	管理初級 2	11月	1.5時間	38	講義：診療体制と医療資源の管理（中村昌夫副専門員）

中間 管理者研 修	看護・ 副看護 師長	看護サービスの質(仮)	12月	1.5時間	53	講義：医療におけるBSCの基礎知識・導入・実践～聖路加国際病院の 事例より～(聖路加国際病院医療連携室チーフ 三谷嘉章先生)
スキル コース	1年目	救急時の看護	5月	3.5時間	51	講義：救急蘇生について 実演：夜勤帯想定 プレ・ポストテスト知識チェック
	2年目	救急時の看護	6月	3.5時間	51	講義：救急蘇生について 実演：夜勤帯想定 プレ・ポストテスト知識チェック
	全職 員	小児救急医療の実際	6月	1.5時間	176	講義：小児救急医療の実際(清水直樹手術集中治療科医師)
看護 研究	3年目 以上	看護研究のプロセス	4月 5月	3.5時間 3.5時間	34 31	講義：看護研究プロセス(阿部さとみ副看護師長) 講義：看護実践と看護研究(伊藤龍子研究所併任看護師長)
看護 研究		看護研究実践	6月～3月		160	伊藤龍子先生、阿部さとみ副看護師長、西海副看護師長による研究 指導
医療 安全研 修	1年目	KYT基礎ラウンド法	6月	3.5時間	51	講義：看護業務の責任範囲、当センターの報告体制(吉岡明美専 任リスクマネージャー) KYT基礎ラウンド法、演習・グル ープワーク
	2年目	KYT基礎ラウンド法	9月	3.5時間	50	講義：医療事故とインシデント、看護業務と法的責任(吉岡明美 専任リスクマネージャー) KYT基礎ラウンド法、演習・グル ープワーク
	3年目	KYT基礎ラウンド法、作業指示STK訓練	11月	3.5時間	28	事故発生時の対応(齋藤弘恵副看護師長) KYT基礎ラウンド 法、作業指示STK訓練、演習・グループワーク
	4年目 以上	インシデントレポートKYT	12月	1.5時間	49	講義：IKYTとインシデントレポートKYT(目崎正子副看護師長) インシデントレポートKYTグループワーク
看護 記録 研修	4年目 以上	看護記録の質の向上	8月・9月	各1.5時間	160	講義：看護問題とアセスメント(国立看護大学校：松山和子先 生)
リフ レッシュ 研修 トピッ クス 研修	全看 護職 員	アサーション	H.18年2 月	1.5時間	86	：講義：ストレスとコミュニケーション(近藤教育企画：近藤成 子先生)
		看護倫理	7月	1.5時間	110	講義：看護倫理について(神奈川県看護協会業務局長：堀喜久子 先生)
看護 助手 研修		看護助手の役割と助手業務の意義	5月	1時間	14	講義：看護助手の役割と助手業務の意義(野口美穂子看護師長) グループワーク「看護助手の役割とは何か」
		接遇について	7月	1時間	14	講義：接遇について(須々木美奈看護師長) 自己チェック
		コミュニケーションと守秘義務について	9月	1時間	14	講義：コミュニケーションと守秘義務(切手純代看護師長) グ ループワーク：「日頃守秘義務の点から気をつけていること」事 例検討
		安全と感染防止	11月	1時間	14	演習：手洗いの実際
		自己の健康管理(腰痛防止)	1月	1時間	14	講義：感染症から身を守る(早坂素子看護師長)
		環境整備について	2月	1時間	14	講義：腰痛の発生と予防(國見恵子看護師長、廣田俊之理学療法 士) 演習
専門 研修	基礎	成育看護と倫理	6月	1.5時間	72	講義：聖路加看護大学非常勤講師 西村哲郎先生
		遺伝・治療・移植における患者・家族に 対する倫理的配慮	10月	1.5時間	74	講義：神奈川県看護協会業務局長 堀 喜久子先生
	生殖	生殖補助医療技術、特に不妊治療の現 状	10月	各1.5時間	72	講義：齋藤英和不妊治療科医長、国立看護大学校教授 佐々木和 子先生
		2.不妊治療における看護者の役割				
	周産 期	ハイリスク新生児医療の現状と課題、ハ イリスク新生児と家族の看護	11月	1.5時間	83	講義：伊藤裕司新生児科医長、西海真理救急センター副看護師長
	小児	小児救急医療・看護の現状の問題点と展 望	12月	1.5時間	110	講義：林幸子救急センター副看護師長
		長期療養の患児と家族のQOLの向上の ための援助	12月	1.5時間	79	講義：伊藤龍子研究所併任看護師長
	思春 期	発達障害を併せ持った思春期患者の看護	H18年1月	1.5時間	58	講義：北里大学院助教 金生 由紀子先生
成人	キャリアオーバーと成育看護	H18年2月	1.5時間	72	講義：国立看護大学校助教 小村 三千代先生	

### 3.3 研修受け入れ

- 1) 6 東病棟 : 2005 年 6 月 1 日～2006 年 2 月 24 日 静岡県立こども病院 助産師 1 名
- 2) NICU 病棟 : 2005 年 10 月 3 日～12 月 2 日 国立病院機構西埼玉中央病院 3 名(3 週間毎)
- 3) ICU 病棟 : 2005 年 10 月 1 日～10 月 31 日 聖路加国際病院 2 名
- 4) 救急センター: 2005 年 9 月 5 日～10 月 7 日 日本看護協会認定看護師教育専門課程小児救急学科 3 名

### 3.4 看護学生・助産学生受け入れ

- 1) 独立行政法人国立病院機構災害医療センター附属昭和の森看護学校 61 名  
小児看護学 第 3 学年: 2005 年 5 月 9 日～7 月 15 日 61 名
- 2) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター附属東が丘看護助産学校 112 名  
看護学科  
小児看護学 第 3 学年: 2005 年 5 月 16 日～12 月 1 日 47 名  
第 2 学年: 2005 年 12 月 12 日～2006 年 3 月 2 日 12 名  
母性看護学 第 3 学年: 2005 年 5 月 10 日～7 月 22 日 18 名  
助産学科 2006 年 7 月 4 日～12 月 9 日 35 名
- 3) 国立看護大学校 249 名  
政策医療看護学 4 年次: 2005 年 6 月 13 日～9 月 20 日 78 名  
小児看護学 3 年次: 2005 年 11 月 14 日～2006 年 3 月 3 日 97 名  
母性看護学 3 年次: 2005 年 11 月 14 日～2006 年 2 月 3 日 67 名  
助産学 4 年次: 2005 年 8 月 29 日～10 月 14 日 7 名

## 4. 社会的活動

### 4.1 講師派遣

- 1) 国立看護大学校講師  
日時: 2005.4.8～5.31  
氏名: 国立看護大学校  
講師: 三原 喜美恵、西海 真理、野口 美穂子
- 2) 第 41 回日本小児循環器学会看護セッション座長  
日時: 2005.7.7～7.8  
場所: 京王プラザホテル  
氏名: 西海 真理、阿部 さとみ
- 3) 日本小児看護学会第 15 回学術集会(テーマセッション)  
日時: 2005.7.23～7.24  
場所: パシフィコ横浜  
氏名: 西海 真理、藤原 聡子
- 4) 日本看護協会認定看護師教育専門課程小児救急学科講師「子ども・家族への接近方法」  
日時: 2005.7.25～7.26  
場所: 日本看護協会看護研修学校  
氏名: 西海 真理
- 5) 第 59 回国立病院総合医学会座長  
日時: 2005.10.14～10.15  
場所: 広島国際会議場  
氏名: 阿部 聖世
- 6) 日本看護協会小児看護研修講師「小児救急における看護師の役割」

- 日時：2005.10.26  
場所：日本看護協会神戸研修センター  
氏名：西海 真理
- 7) 社会福祉法人慈生会ナザレットの家院内研修会講師「感染防御の実際」  
日時：2005.11.9  
場所：中野区ナザレットの家  
氏名：菅原 美絵
- 8) 独立行政法人国立病院機構災害医療センター附属昭和の森看護学校講師  
日時：2005.11.11～2006.1.27  
場所：昭和の森看護学校  
氏名：早坂 素子、竹内 理恵、劔持 瞳
- 9) 周産期医療研修会講師「リスクマネジメント」  
日時：2005.11.16  
場所：母子愛育会  
氏名：吉岡 明美
- 10) 埼玉県看護協会小児看護講師「小児看護の専門性」  
日時：2005.12.8  
場所：埼玉地域看護研修センター  
氏名：西海 真理
- 11) 日総研セミナー公開研修会講師「小児看護クリニカルパスにおけるバリエーションのとらえ方と活かし方」  
日時：2006.2.25、3.11、4.22  
場所：仙台、東京、名古屋  
氏名：早坂 素子、切手 純代

#### 4.2 投稿

- 1) 薄葉 典子：「心臓の修復手術(根治手術)が難しい子どもさんをもたれた方へ」、新版「心臓病児者の幸せのために」、全国心臓病の子どもを守る会、2005.4
- 2) 榎原 恵子・野口 美穂子：「看護基準・手順のつくり方・見直し方の工夫」、看護、日本看護協会出版会、2005.6
- 3) 斎藤 理恵子、早坂 素子、切手 純代：「小児の生活空間、母子同室の課題」、病院設備、日本医療福祉設備協会、2006.1
- 4) 西海 真理：「教育的かかわり;小児看護専門看護師の教育的かかわり」、小児看護、へるす出版、2005.6
- 5) 阿部 聖世：「特集「陣痛」と「麻酔」 インタビュー 死産のケアと産痛緩和 方法としての硬膜外麻酔分娩の検討から - 」、助産雑誌、医学書院、2005.6
- 6) 平良 七恵・林 真由美：「国立成育医療センターにおけるキャリーオーバー病棟の看護の実践と今後の課題」、小児看護臨時増刊号 へるす出版、2005.8
- 7) 宮澤 佳子：「小児のトリアージの特徴と実際」、看護技術、メジカルフレンド社、2005.9
- 8) 三原 喜美恵：「小児専門病院における遺伝カウンセリングの実践、小児看護、へるす出版 2006.2

## 5. 保育士の活動

### 5.1 概要

平成 17 年度は 4 月 1 日付で保育士 6 名、7～9 階の小児 6 病棟の入院患児を対象に保育を行った。“保育業務の充実”を目指し今年度の保育係活動を、業務・行事・物品・研修（自己学習）あらたに保育記録係を立ち上げ活動した。

保育活動は日々の各病棟での保育活動の他に、年間行事を 4 回、パネルシアター・紙芝居・季節の制作など複数の保育士による設定保育（ぼけっと保育）を 17 回実施。それぞれの保育活動への参加人数も前年度に比べ増加してきており、病棟内での保育活動も定着してきている。特にぼけっと保育の鑑賞活動において、低年齢児および発達障害児の親子参加の増加が著しい。その他、成育イベントボランティアの協力を得ながら、15 回のイベントを設けることができた。

保育業務では、開院時より作成してきた保育マニュアルを内容別に分け、保育手順としてまとめ、小児 6 病棟の保育業務の標準化をはかっていった。さらに、完成した保育手順をもとに 10 月の保育士の院内配置換えの際の申し送り、保育士院内教育の際に活用することができた。

### 5.2 活動

#### 5.2.1 年間行事

- 7 月 七夕会
- 10 月 ハロウィン会
- 12 月 クリスマス会
- 3 月 ひなまつり会

#### 5.2.2 保育業務

- 4 月 保育業務マニュアル作成「1 日の流れ」
- 5 月 保育業務マニュアル作成「保育活動別」
- 6 月 勉強会 発達について
- 7 月 保育業務マニュアル作成「保育内容別」
- 9 月 保育業務マニュアル作成「保育業務全般」  
保育研修 手術室見学  
保育記録改訂
- 10 月 保育士 3 名 院内配置換え
- 11 月 勉強会 発達について
- 12 月 保育研修 手術前後の流れ見学
- 2 月 保育業務マニュアル作成「安全」  
保育士院内教育システム作成開始  
保育記録修正  
勉強会 発達について
- 3 月 保育記録改訂

#### 5.2.3 見学・研修受け入れ

平成 17 年度の見学受け入れ保育対応 4 件。保育業務の説明と小児病棟の見学を中心に行った。

#### 5.2.4 研究活動

##### 【院外発表】

- 1、林 典子：保育業務の標準化と手順作成 第 9 回日本医療保育学会 2005.8.29

2、豊田江利子：国立成育医療センターにおける保育活動の現状と課題

日本医療保育学会全国研修会 2005.9.17

【その他】

1、高橋みゆき：国立成育医療センターにおける保育内容 ～おもちゃと保育活動～

成育公開セミナー 病児の遊びとおもちゃケア 2006.3.25

**5.2.5 研修**

2005年6月12日 日本医療保育学会関東研修会

2005年8月27・28日 第9回日本医療保育学会

2005年9月17・18日 日本医療保育学会全国研修会

2006年3月25日 成育公開セミナー 病児の遊びとおもちゃケア

**5.2.6 社会的活動**

2005年7月6日 東京都病院内研究会 講師 高橋みゆき

2005年8月27・28日 第9回日本医療保育学会 一般演題座長 高橋みゆき

2006年1月14日 日本医療保育学会調査研究委員会6名参加